

平成27年度 自己評価書・学校関係者評価書

■ そう思う ■ どちらかといえば、そう思う ■ どちらかといえば、そう思わない ■ そう思わない ■ 無回答

①豊かな心をはぐむ教育の推進

<p><b>1 道徳・心の教育の充実</b></p>	<p><b>2 いじめや問題への対応</b></p>	<p><b>3 学校の支援体制</b></p>
<p>学校は、豊かな人間性を育む心の教育の充実に努めていると思いますか。(礼儀、生命尊重、思いやりなど)</p>	<p>学校では、いじめや問題があったとき、すぐに話を聞いて対応していると思いますか。</p>	<p>学校は、支援を必要とする子どもの教育について、共通理解を図りながら取り組んでいると思いますか。</p>
<p>【学校から】○道徳の授業を中心とした「豊かな心」の育成に全職員で取り組んでいる。特に、年間を通して道徳実践力を高め、規範意識を育てることで「3」「4」も割合が高い。今後も、子どもの実態を的確に把握し、道徳の授業の質の改善を図っていききたい。○いじめや問題行動の対応については、「1」「2」が1割である。いじめ未然防止に向けて、子どものよさや特性を伸ばし自己有用感を高めていきたい。アンケート等の結果をふまえた教育相談体制の充実をさらに図っていききたい。○児童理解朝会を毎月行い、家庭や関係機関と連携を図りながら、集団づくりを進め心の居場所づくりに取り組んでいる。月末の校内支援委員会を通して、校内支援体制の充実及び関係機関との連携の充実、資質能力の向上を図り、効果を上げている。</p>		

①豊かな心をはぐむ教育の推進

<p><b>4 一人一人の児童生徒の尊重</b></p>	<p><b>5 友達への思いやり</b></p>	<p><b>②学ぶ楽しさやわかる喜びのある教育の推進</b></p>
<p>学校は、一人一人の子どもを大切にされた指導や対応ができていますか。</p>	<p>子どもは、友だちとなかよくしていると思いますか。</p>	<p><b>6 意欲的な学習態度</b></p> <p>子どもは、意欲的に授業に取り組んでいると思いますか。</p>
<p>【学校から】○授業づくりの中で、児童一人一人の基礎的基本的な知識・理解の習得を高める手立てを工夫改善することを基本としている。また、日常的な生徒指導を行う際も、子どもの家庭環境などをもとに、子どもの人間関係づくりに努めている。○毎月のきずなアンケートの結果をもとに教育相談を行ったり、職員間で情報の共有化(児童理解朝会及び校内支援委員会等)を図り、子どもを多様な視点からとらえ人間関係づくりに努めている。</p> <p>【学校から】○研修体制の改善を行い、授業力の向上を図るために、一人一研究授業を行っている。ICTの効果的な活用を行うなど、教材研究の可視化を目指している。具体的な実践研究を系統的に積み重ね、学力の充実を目指したい。</p>		

<p><b>②学ぶ楽しさやわかる喜びのある教育の推進</b></p>	<p><b>③教職員の指導力向上</b></p>	
<p><b>7 ICT活用</b></p>	<p><b>8 授業力向上</b></p>	<p><b>9 児童生徒理解</b></p>
<p>先生方は、ICT機器を活用してわかりやすい授業づくりに努めていると思いますか。</p>	<p>先生方は、わかる授業、楽しい授業づくりに努めていると思いますか。</p>	<p>先生方は、子どものよさを見つけ、子どもを理解しようと努めていると思いますか。</p>

<p><b>④健康づくりの推進</b></p>	<p><b>⑤学習施設の整備</b></p>	<p><b>⑥子どもたちの安全・安心の確保</b></p>
<p><b>10 健康づくり</b></p>	<p><b>11 施設・設備の安全管理</b></p>	<p><b>12 安全と事故防止</b></p>
<p>子どもは、好き嫌いなく食事をし適度な運動と十分な睡眠に気をつけて生活していると思いますか。</p>	<p>学校の施設・設備は、安全でよく整備・管理されていると思いますか。</p>	<p>学校は、子どもの事故防止などの安全教育に取り組んでいると思いますか。</p>
<p>【学校から】○体育学習の工夫改善及び体力づくりにスキルアップタイムを設けたり、外遊び10分間を掲げ、たりするなど日常的に取り組んでいる。2割程度の子どもの体力づくりについての興味・関心を高めるためにさらに具体的実践を高めていきたい。○毎月の安全点検をもとに、安全・安心な学校生活を送れる環境づくりを組織的に行っている。また、けが等のデータをもとに、子どもの目線で営繕活動を行っている。大規模な工事(車両の安全確保及び駐車場の増設のためのカイズカイクの剪定、子どもの安全確保及び遊び場の拡張のための鳥小屋の撤去、体育館雨漏り防止工事等)については、見直しを持って市教委と連携して取り組んでいる。</p> <p>【学校から】○校内外での生徒指導上の問題が生じた場合、迅速かつ適切に指導の徹底を図り、事故防止に取り組んでいる。また、過去のデータや季節的な生徒指導上の問題など、早め早めの対応を行い、未然防止に取り組んでいる。</p>		

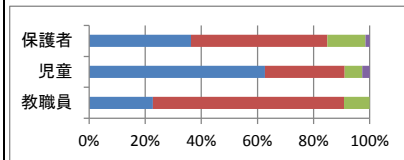
⑦家庭や地域社会の学校教育活動への参画・支援

<p><b>13 教育方針・目標の理解</b></p>	<p><b>14 家庭や地域との連携協力</b></p>
<p>学校は、教育方針や教育目標などを、子どもや保護者地域にわかりやすく示していると思いますか。</p>	<p>学校は、家庭や地域と連携・協力しながら教育活動を進めていると思いますか。</p>
<p>【学校から】○学校教育目標を達成するために、系統的に共通実践し、授業参観や学校行事等で具現化を図っている。家庭の理解と協力を得るために、学校・学年・学級便り等で学校での教育情報の公開を行っている。今後も、家庭と連携して子どもに生きる力を身につけさせたい。○教育カレンダーを家庭や地域に周知し、授業参観等の参加しやすい環境づくりを行っている。また、PTA役員との連絡体制を整えて、情報の共有化を図り、徳・知・体の調和のとれた子どもの育成を見直しを持って取り組んでいくようにしたい。各学年の人材活用をさらに充実させ、基礎的・基本的な知識・技能の習得及び開かれた学校づくりをさらに進めていきたい。</p>	

## 本校の教育

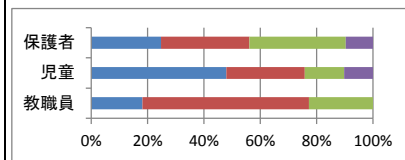
### 15 挨拶

子どもは学校や家庭でよく挨拶していると思いますか。



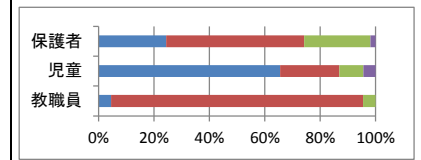
### 16 読書

子どもは学校や家庭でよく読書していると思いますか。



### 17 家庭学習

子どもは家庭学習をしていると思いますか。



【学校から】○家庭や地域でのあいさつ運動は高まりつつあるが、個人差が大きいため、家庭と連携した指導の徹底を図る必要がある。来校者の外部評価では、「気持ちのよいあいさつをする子どもが多い」と高い評価を得ている。○読書活動を充実させるために、今年度、森都心プラザの図書館司書の協力を得て、図書室の改善を行った。子ども以前に比べて、図書館利用が増加した。家庭学習における音読、保護者による読み聞かせ活動、読み聞かせボランティアによる読み聞かせ、司書補等による工夫・改善がなされている。○家庭学習の定着を図るために、各学年部で発達段階に応じた学習内容を中心に取り組んでいる。学力保障の意義を保護者に周知し、基礎的・基本的な知識・技能を定着を図るために、家庭と連携して取り組んでいきたい。

## 来年度の具体的な取り組みについて

- 教育目標方針については、さらに分かりやすく、学校便り、PTA新聞、諸団体会合などあらゆる機会を通して情報発信を行う。
- 毎時間の授業の充実のための校内研修の充実、一人一研究授業及びステップアップサポーター等の外部講師を招聘しての授業力向上に計画的、継続的に取り組んでいきたい。また、学びノートを中心とした学力充実と厳しい状況の子どもの生活習慣の確立など、個に応じた学習のさらなる徹底を図っていく。
- 幼保・小中連携協議会で取り組んでいる「あいさつと規範意識」をテーマにして、各学校で連携して、基本的生活習慣のキャンペーンの実施などを通して、挨拶、マナーなどの規範意識を育てる指導の徹底を図る。
- 「安全・安心な環境の中で、子どもは育つ」を合言葉に、自分の身は自分で守るという危機回避能力を高めるための施設管理・改善を計画的に行っていく。また、家庭や地域と連携した交通指導及び生徒指導のネットワークを日常的な連絡体制の充実を図っていく。
- 地域の教育資源の活用し、「1年さつまいも栽培・伝承遊び・ふれあい給食、2年いも栽培・料理、3年なすび栽培・料理、5年稲栽培・もちつき、6年弁当作り」を行うなど、育てる、調理する、食べるといった一連の活動をさらに計画的に位置づけ、今後も食育の充実を図ってきたい。
- インフルエンザ等に対応するために、手洗い・うがいなど基本的生活習慣の確立を図る。また、心身共に健康な生活を送れるように、より一層の工夫に努めたい。
- 全国標準学力調査（NRT調査）を受けて、より児童の学力を分析し、領域ごとにきめ細かな指導の工夫改善に努め、確かな学力の定着を図りたい。

## 学校関係者評価

- 公開授業や音楽会などの学校行事を通して、子どもたちが楽しく学校生活を送っていることがよく伝わってくる。学校教育目標では、保護者・児童・教職員ともに「3」「4」の割合が昨年度よりも伸びており、学校の取り組みの成果が評価されていると言える。
- 教科指導等では、一人一人のニーズに応じた教育活動の工夫が見られた。10月の自主公開授業や授業参観でも先生方の工夫や努力が子どもたちの力を伸ばしていることが実感できた。
- 道徳、心の教育、人権教育では、校内研修を通して子どもたちが、折り合いを考えながら自他の考えを高めていく実践を全校的に進めることで、豊かな心かわり方ができる子どもが増えている。
- 生徒指導・教育相談では、あいさつの励行や規範意識の醸成を図ってきているが、さまざまな事情を抱えている子どもがおり、細やかな配慮をしながらすべての子どもたちが心豊かに育ってくれるようにしていきたい。様々な子どものニーズに応じた関係機関との連携を進めることで、組織的な対応力を高めている。
- 健康教育・安全では昨年度の体力向上推進の取り組みが生きているので、今後の子どもたちの活動につなげてほしい。安全対策協議会を中心にして、校内外の安全・安心な環境づくりに努め、防犯・交通安全については地域と一体になり進めていきたい。
- 家庭・地域との連携は子どもたちの成長を願い学校を中心としていっそうの連携協力をしていってほしい。